



校長室から

ていつ

「両立」から「鼎立」へ

校長 林田 誠一

卒業式の式辞で、ビビアン・ハーさんのことを紹介しました。8歳のとき、児童労働解消のために自分で作ったレモネードを公園で売り、半年で一千万円以上を集めて寄付したこと。そこには、買い手に値段をつけてもらうという、ちょっとした思い付きがうまく働いたこと。さらに、SNSで話題になり、海外からも支援が集まったこと。そして、9歳で瓶詰レモネードの会社を興し、数十億円の売り上げを達成したこと。その一部を児童労働解消のための活動に寄付していること。

ここから先は、式辞では触れなかったことですが、小学生が社会貢献のために、夏休みの公園で手作りのレモネードを売るというのは、実は、アメリカでは珍しくないそうです。むしろ、夏の風物詩とも言える光景なのとか。日本とアメリカの文化の違い、社会との関わり方の違いがはっきり表れていると思います。

日本の小学生で、夏休みに自分の時間を削って、

社会のために役立つ行動をしている人が何人いるでしょう。中学生、高校生となっても、その数はほとんど増えないと思います。むしろ、高校生ともなれば、勉強と部活動で夏休みのほとんどが費やされ、社会に目を向ける暇もない状態なのではないでしょうか。

しかし、今、「学びの質」が変わろうとしています。学校の中だけで完結しているのでは、生きた学びはできません。社会に目を向け、課題を拾い上げ、アクションを起こし、成果や課題を検証することでしか学べないこと。それこそが、これからの時代を生きていくために必要な力です。

これまで、日本の高校では、「勉強と部活動の両立」が是とされてきたように思いますが、これからは、それに「社会とつながること」を加える必要があると思います。「両立」ではなく「鼎立」を目指すべきです。

辞書的には「鼎立」は「三者が互いに対立すること」という意味になるようですが、私は「自分の中に三者を立たせ、より高みを目指すこと」と定義したいと思います。器は三本の足を持つことでようやく安定するのです。



第43回卒業式

3月1日（木）、第43回卒業証書授与式が挙行政され、卒業生48名が在校生や家族に見守られながら学び舎を巣立っていきました。

送辞では2年生の田淵拓実さんが、共に過ごした学校生活を振り返りながら、卒業生への思いを語りました。答辞では元生徒会長の川下由乃介さんが、高校3年間の想いや保護者・在校生・先生に対する感謝の気持ちを述べ、3年間慣れ親しんだ学び舎に別れを告げました。式中、多くの卒業生が涙を浮かべ、たいへん感動的な卒業式となりました。

卒業生の今後の活躍を心から祈っています。頑張ってください。



介護職員初任者研修開講式

3月2日（金）、本校において2年福祉生活系列6名が、介護職員初任者研修の開講式に臨みました。平戸市社会福祉協議会事務局 長 相知様から激励の言葉を頂いた後、生徒を代表して柴山優さんが決意を述べました。これから、6名は130時間に及ぶ講義・実技・実習に取り組みます。修了試験まで、6名で力をあわせて頑張ってください。



スマホ会議



3月中旬、本校1, 2年生全員がスマートフォンにおける使用マナーや問題点などについて考えるスマホ会議を開催しました。全生徒を10グループに分け、事前アンケートをもとに意見を出し合いました。最後にグループごとに話し合った内容を発表することで、今後のスマートフォン使用への理解を深めることができました。長崎県では初の試みでしたが、生徒会を中心としてたいへん有意義な会議となりました。

4月の主な行事

6日（金） 新入生オリエンテーション

9日（月） 1学期始業式・着任式

第44回入学式・対面式

10日（火） 基礎力診断テスト

12日（木） 面談週間（～24日）

13日（金） 公務員模試（3年①）

18日（水） 歓迎遠足

25日（水） 新体力テスト

27日（金） 公務員模試（3年②）

合格者発表

15日（木）に合格者発表が行われ、男子14名、女子14名の計28名が合格し、4月から平高生としての学校生活が始まります。勉強や部活動に励み、充実した3年間にしてほしいと思います。



人事異動

～先生方大変お世話になりました～

林田 誠一 校長先生 （県教委等へ）

川上 智子 先生〔実習助手〕（清峰高校へ）

眞崎 定 事務長先生 （大村特支学校へ）

中島 孝子 先生〔福祉〕（佐世保実業高校へ）

遠藤 真紀 先生〔英語〕（上五島高校へ）

松尾 健太郎 先生〔音楽〕（諫早東高校へ）

西村 奈美子 先生〔国語〕（対馬高校へ）

久保山 富美 先生〔養護〕（退職）

小森 修一 先生〔地歴〕（佐世保南高校へ）

安河内 奏子 先生〔英語〕（野子小・中学校へ）

柴原 由香利 先生〔数学〕（島原商業高校へ）

礎 さおり 先生〔商業〕（退職）

山口 千佳子 先生〔養護〕（虹の原特支学校高等部対馬分教室へ）